



『もりのとしゃかん』

ふくざわ ゆみこ／作・絵 学研プラス
もりのおくに、ほんのすきなふくろうさんのいえがありました。あるひ、うさぎときつねのこが、まどからのぞいていると、ふくろうさんが「しずかにほんがよめるなら、いれてあげよう」といいました。そこで…。

『しずかに! ここはどうぶつのとしゃかんです』

ドン・フリーマン／作 なかがわ ちひろ／訳
BL出版
カーリーナはとしゃかんがだいすき。あるとき「どうぶつたちもほんをよみたいのかもしれないな」とおもったカーリーナは…。

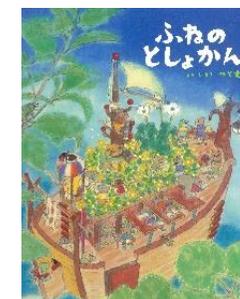
『ポチポチのとしゃかん』

いがわ ゆりこ／文・絵 文溪堂
こいぬのポチポチくんが、ぼくを“ポチポチとしゃかん”につれていってくれた。ドアをあけるとなかにいるのはどうぶつばかりだった!

としゃかんがでてくる えほん



幼児向け



『ぬいぐるみおとまりかい』

かぜき かずひと／作 おかだ ちあき／絵
岩崎書店
としゃかんに、こどもたちがあつまってきた。みんなぬいぐるみをもってる。ぬいぐるみといっしょにおはなしかいをきいたら、ぬいぐるみたちは、ねむくなったみたい。

『よるのとしゃかん』

カズノ・コハラ／作 いしづ ちひろ／訳
光村教育図書
カーリーナと3わのふくろうたちがはたらいているのは、よるあいているとしゃかん。としゃかんではいろいろなことがおこります。でも、カーリーナとふくろうたちのおかげですっきりかいつ!

『ふねのとしゃかん』

いしい つとむ／作 文研出版
ぼく、はじめてふねのとしゃかんにのった。ふねのなかはほんがいっぱいで、ほんのもりみたい。まっくらなふねのなか、せんちょうさんがろうそくにひをともした。おはなしがはじまるんだ。